

素晴らしいお父さんと私の希望

オックソーチツタ

私は中流家庭で生まれました。私の父は教師で、母は専業主婦です。兄弟が二人です。兄は来年大学を卒業する予定で、妹は中学校で勉強しています。そして、私は国費留学生として、専門学校で勉強するために日本へ来ました。

まず、私と父の良い関係をお伝えしたいと思います。どうして父は特別な人なのか。父はいつも親友のようです。冗談を言いますし、一緒にゲームをしますし、子供のためにいろいろしてくれて、私は本当に幸せです。そして、父は私のサポーターでもあります。毎日仕事の後でも私の悲しかったこと、怒っていることを受けとめてくれます。そして、悪いことがある時には解決策を見つけて助けてくれます。良いことがある時にはいつも父が私より幸せそうです。おいしい料理を作ったり、特別なプレゼントもくれたりします。でも、

本当は私が一番父のことを気にかけてあげなければ  
なりません。具合の悪い時でも「疲れた。」と  
は言いません。どれほど疲れているか、気分  
が悪いか、体がいたいか、私を心配させない  
ために決して言いませんでした。

今父は重い病気で入院しています。もう二  
か月ですが、父の健康はどんどん悪くなりま  
す。父はご飯を食べられなくなり、歩きづら  
いし、寝られなくて元気じゃありません。運悪  
く、コロナで母は一人で父を助けていて、私  
も父と会うことができません。それで、私の  
いつも祈っていることは父が元気であり、友  
であり、私のヒーローであり、サポーターで  
あるように。そして、父や約束した通り私が  
成功するのを見てほしいと思っています。父  
がくれたすばらしいことを全部、私も返した  
いです。できるなら、父がしてくれたように、  
今父のそばにいてあげたいです。父がいなく  
てがんばることは寂しいものです。ですから、  
これを書いて、父に見せてあげたいです。